

上宮寺通信

第八十二号

あじさい

うつつとうしい梅雨の季節がやってきました。ジメジメとした天気にも心もすっきりとしないうち、私たちの心を和ませてくれるのが「あじさい」の花です。特に水滴が付いた姿は魅力的で、雨あがりの散歩でも楽しませてくれます。

「あじさい」は土壌によって花の色が変わります。

一般的に土壌が酸性であれば青色に、アルカリ性であれば赤色になるということが知られています。また花の色は日が経つにつれ変化していき、青色の花も土壌に関係なくだんだんと赤色の花になっていくそうです。

このように「あじさい」は色の変化に富んだ花であることから「七変化」「八仙花」という別名もあります。また花言葉には「移り気」「浮気」「無常」などがあり、それも納得です。

「あじさい」の花言葉にある「無常」は仏教の説く「諸行無常の教え」に通じるものがあります。ですから多くの寺の境内に古くから「あじさい」が植えられてきました。全国各地に「あじさい寺」といわれる寺院があるのもそのためだと思われるのです。

諸行無常とは、この世の中のものはすべてが様々な原因や条件によって形作られていて、常に消滅変化しているということです。つまり、永遠不変なもの

は何もないということです。

それは私の心も同じ。まさに「あじさい」の別名のように「七変化」です。優しい心でいようと思っても、ふとしたことで怒りの心がわきおこってくる。自分とは自分と思いながらも、他人のことがよく見えてしまう。まさに「あじさい」の花の色の変化は私の心を表しているといえます。

また土壌によって花の色が変わる「あじさい」は、親鸞聖人のいわれる「自然法爾」に通じるものがあります。

自然法爾とは簡単にいえば「ありのままを受け入れる」ということです。あじさいは「赤色がいいからアルカリ性の土壌で咲きたい」とか「青色がいい

から酸性の土壌で咲きたい」とはいうわけにはいきません。たまたま根をはやした場所を受け入れて花を咲かせています。

私たちの姿は「あちらが良い、こちらが良い」と、いつも損得勘定で動いてしまえます。なかなか現状を受け入れることができません。

「あじさい」が咲く姿を通していろいろなことが教えられるのです。



仏事のギモン? ⑬

ろうそくの種類

「ろうそく」には一般的に「和ろうそく」と「洋ろうそく」といわれるものがあります。和ろうそくはハゼの実から抽出された蠟で作られており、洋ろうそくは石油が原材料となっているパラフィンから作られています。

仏事では和ろうそくを使っていたのですが、高価ですので通常のお参りの時は洋ろうそくを使っていたのだいともかまいません。最近パラフィンを使用した「和ろうそく風」のものもあります。形は上から下に向かって湾曲していて中央部分が細くなっているイカリ型といわれるものを使用します。



◆行事案内

お盆(盂蘭盆会) 法要

8月13日(水)・14日(木)

午前9時～午後3時

場所…上宮寺本堂

※ご都合のつく時間にお参りください。



○ホームページ、公式LINEもよろしく願います。



ホームページ



公式 LINE

◆話題あれこれ

○早いものでお盆の案内をする時期となりました。上記案内のように8月13日・14日と上宮寺本堂にてお盆の法要をいたします。また、初盆などで自宅にてお盆の法要をご希望される方は早めにお寺にご相談ください。

○八事墓地内の上宮寺墓地をご利用の方には今年度の管理費納入のお願いを出させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○はじめとしたこの時期、体調管理には十分お気を付けください。

【雑感】

大相撲夏場所で大関・大の里が千秋楽で横綱・豊昇龍に敗れたものの14勝1敗の好成績で二場所連続優勝を決めて横綱昇進を果たしました。初土俵から13場所でのスピード出世は年六場所となつてからの最速記録だそうです。日本出身の横綱は師匠の稀勢の里以来ですが、ケガに泣かされ短命に終わった師匠の無念を晴らすべく息の長い大横綱へとなつていってほしいものです。そして来場所はいよいよ名古屋。新しくなったIGAアリーナで東西両横綱の土俵入りが見られます。今から楽しみです。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547